

W-794 取扱説明書

W794-2212

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
下さいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度: 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25°C で使用した場合)
- 使用電源: 専用アダプター
AC100V 50/60Hz 0.2A、出力: DC5V 1A
- 消費電力: 5W
- 補助電池: コイン型リチウム電池 (CR2032) 1 個 (電池別売)
- 使用温度範囲: +5 ~ +40°C ※結露なきこと
(外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 時刻表示: 12 時間制表示、または 24 時間制表示
- カレンダー表示: 2000 年 1 月 1 日 ~ 2099 年 12 月 31 日 (フルオート)
- 温度計: 表示範囲 -20 ~ +50°C
※-20°C より低いと [LL]、+50°C より高いと [HH] を表示
精度 ±2°C (-20 ~ +50°C の範囲)
- 夜間自動減光機能: 午後 10 時 00 分 00 秒 ~ 午前 6 時 59 分 59 秒

温度表示機能について

- 本製品は工業用(業務用)計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。温度表示機能は、センサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間がかかる場合があります。
- 他の製品、温度計との誤差が発生する場合があります。
- 使用温度範囲を超えた場合、故障の原因となりますので、ご注意ください。

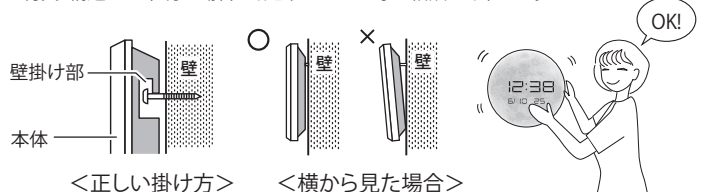
夜間自動減光機能

表示時刻が22時00分00秒(午後10時00分00秒)から、翌朝の6時59分59秒までの間、LEDの光量を自動的に抑えて、まぶしさを軽減します。
※内蔵ICで制御されていますので、時間の変更は出来ません。
※時刻設定時に午前と午後の設定を間違えると、夜間自動減光機能が夜間に作動しなくなります。

時計の掛け方について

注意 掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
- 時計は垂直・水平に掛けて下さい。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
- 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。
- 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けして下さい。
- 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。
※材質・構造が不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。



専用アダプターのご注意

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 必ず付属の専用アダプターを使用する
他のものを使用すると、故障や火災の原因になることがある。
- 専用アダプターを接続するときは、コンセントや配線機器の定格を超える使い方をしない
定格を超えて使うと、発熱や火災の原因になる。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んで使用する
差し込みが不完全だと、火災や感電の原因になる。
- 本体や専用アダプターから発熱・煙・異臭などがするときは、直ちに専用アダプターをコンセントから抜く
そのままにすると、感電や火災の原因になる。
- 電源プラグおよびコンセントの差し込み口のほこりを定期的にとる
ほこりがたまること、絶縁不良となり、火災の原因になる。
- 使用中の専用アダプターがふれられないほど熱くなったときは、コンセントから抜いて使用を中止する
- 電源プラグは主遮断装置であり、万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見え、容易に手が届く位置にあるコンセントに接続する

- 専用アダプターを布団などでおおった状態で使わない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがある。
- 雷が鳴りだしたら、本機や専用アダプターにふれない
感電の原因になる。
- ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
ケーブルが破損して、感電や火災の原因になる。
- 専用アダプターやケーブルが痛んだときは使用を中止する
そのまま使用すると、感電や火災の原因になる。
- 電源コードを束ねたり、結んだ状態で使用しない

注意 障害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 長時間使用しないときは、専用アダプターを取り外す
安全のため専用アダプターを取り外す。
- 専用アダプターのケーブルを引っ張らない
断線を防ぐため、コンセントから抜くときは、専用アダプター本体を持つ。

- 使用中の専用アダプターに長時間ふれない
低温やけどの原因になる。

表示画面のご注意

注意 障害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 表示画面を凝視しない
目に悪影響を及ぼす恐れがあります。

12/24時間表示切替

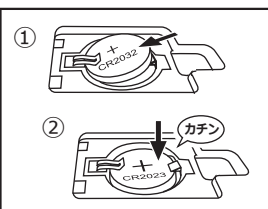
通常時刻表示のときにBボタンを押すことに、12/24時間表示を切り替えることが出来ます。

補助電池について

- 補助電池は、停電などの一時的(30分以内程度)にAC電源からの通電が止まった場合の、時刻のバックアップ用です。
- 補助電池のみでの使用の場合は時刻表示をしません、時計内部で時刻を計測しています。通電後は経過時間を加えた時刻を表示します。
※停電などで通電が遮断された後、補助電池を使用していない場合は、再通電すると時刻が12:00で表示します。このような場合は、再度設定し直して下さい。
※補助電池が無い状態で通電が遮断された場合でも、製品内部の電気が完全に放電されていなければ、再通電したときに時刻のバックアップが働くことがあります。

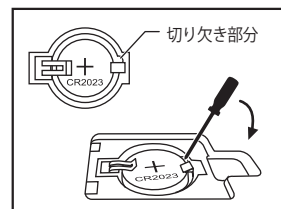
入れ方

補助電池を入れるときは、⊕表示を上にしてバネの下に差し込んで反対側の端を押して下さい。



外し方

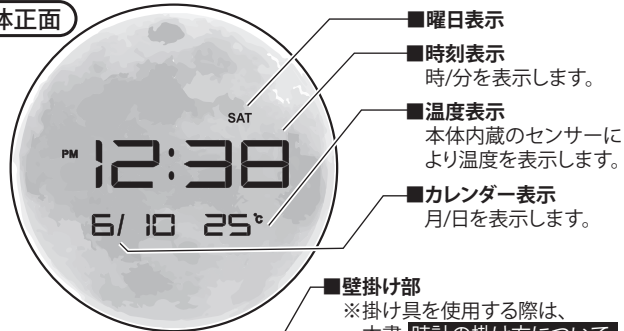
補助電池を外すときは、切り欠き部分にドライバー等の先の細いモノを差し込んで引き上げて下さい。



注意

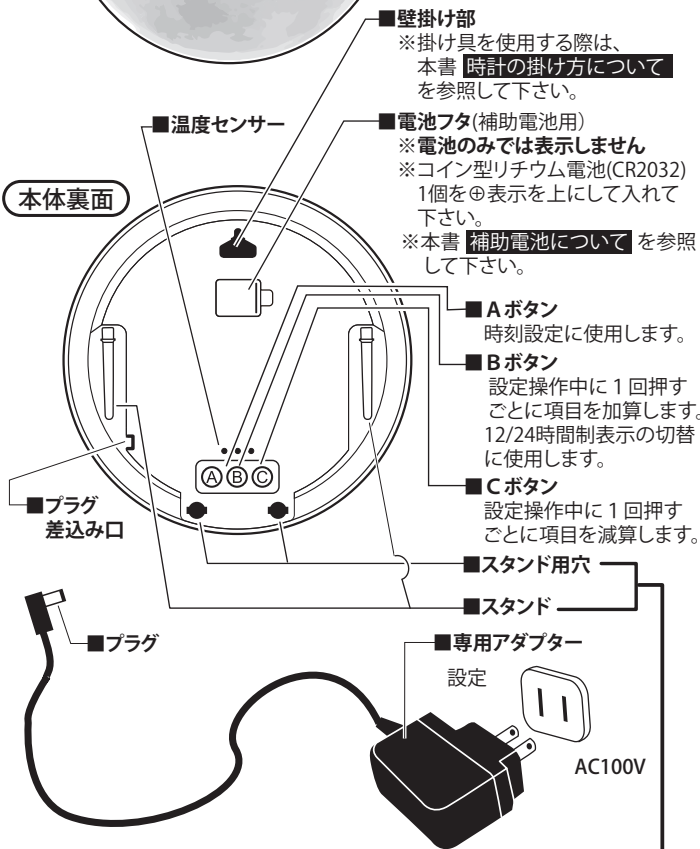
表示画面を凝視しないで下さい。
目に悪影響を及ぼす恐れがあります。

本体正面



- 曜日表示
- 時刻表示
時/分を表示します。
- 温度表示
本体内蔵のセンサーにより温度を表示します。
- カレンダー表示
月/日を表示します。

本体裏面



- 壁掛け部
※掛け具を使用する際は、本書「時計の掛け方について」を参照して下さい。
- 電池フタ(補助電池用)
※電池のみでは表示しません
※コイン型リチウム電池(CR2032) 1個を⊕表示を上にして入れて下さい。
※本書「補助電池について」を参照して下さい。
- Aボタン
時刻設定に使用します。
- Bボタン
設定操作中に1回押しごとに項目を加算します。12/24時間制表示の切替に使用します。
- Cボタン
設定操作中に1回押しごとに項目を減算します。
- プラグ差込み口
- スタンド用穴
- スタンド
- 専用アダプター
設定
- プラグ

- ①本体正面下のラベルを剥がす。
- ②本体裏面のプラグ差込み口に、専用アダプターのプラグを差し込む。
- ③専用アダプターをコンセント(家庭用電源AC100V)に差し込む。
→表示が点灯し、本体が起動します。



時刻/日付(曜日)の設定

注意

※設定中の点滅は約30秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して通常表示に戻ります。
※曜日は、[年(西暦)・月・日]を設定すると自動で設定されます。

- ①設定モードに入る
Aボタンを押すと、[年]が点滅して時刻/日付の設定モードに入ります。

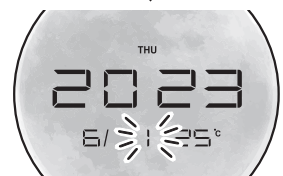
- ②年(西暦)の設定
[年]が点滅している間にBボタン/Cボタンを押して[年]を設定する。
※ボタンを長押しすると早送りします。
設定したら、Aボタンを押す。



- ③月の設定
[月]が点滅している間にBボタン/Cボタンを押して[月]を設定する。
※ボタンを長押しすると早送りします。
設定したら、Aボタンを押す。



- ④日の設定
[日]が点滅している間にBボタン/Cボタンを押して[日]を設定する。
※ボタンを長押しすると早送りします。
設定したら、Aボタンを押す。



- ⑤12/24時間表示の設定
[12/24時間表示]が点滅している間にBボタン/Cボタンを押して[12/24表示]を設定する。
設定したら、Aボタンを押す。



- ⑥[時]の設定
[時]が点滅している間にBボタン/Cボタンを押して[時]を設定する。
設定したら、Aボタンを押す。



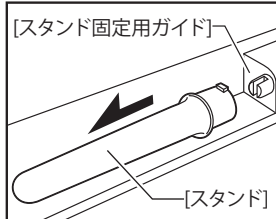
- ⑦[分]の設定
[分]が点滅している間にBボタン/Cボタンを押して[分]を設定する。
設定したら、Aボタンを押す。
※[秒]は[分]の設定をすることで00秒に設定されます。



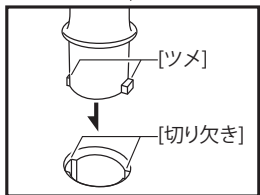
- ⑧設定完了(通常時刻表示)
点滅が終了して設定が完了する。



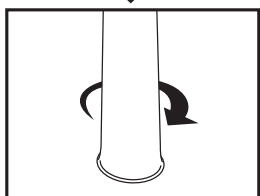
スタンドの使い方について



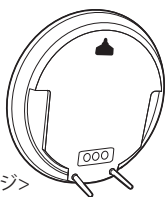
- スタンドを本体から取り外すときは、真っすぐ引きながら外して下さい。
※違う方向に引いて外そうとすると、スタンド固定用ガイドが破損する恐れがあります。



- スタンドを本体裏面のスタンド用穴に差し込みます。スタンドのツメを、スタンド用穴の切り欠きに合わせて入れて下さい。



- スタンドを差し込み、右に回して固定して下さい。



<スタンド取付イメージ>

※スタンドは、必ず左右両方を取り付けて使用して下さい。